

院内実施検査項目に対する緊急対応可能項目数

■項目説明：

救急患者さんや入院中の患者さんの急変などに対応し、平日時間内に、院内で緊急に実施できる検査がどの程度あるのかを示す指標です。

■定義・計算方法

分子＝緊急対応可能項目数

（例）白血球数、赤血球数、総タンパク、TSH、バルプロ酸濃度、リチウム濃度等

分母＝1 病院あたり

（毎年、年度初日の緊急対応可能項目数を掲載しています）

■指標値

（過去データ）

R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
58	58	58	58	61

